

第7章 人口の見通し

人口・世帯数等の状況

1 人口・世帯数の推移

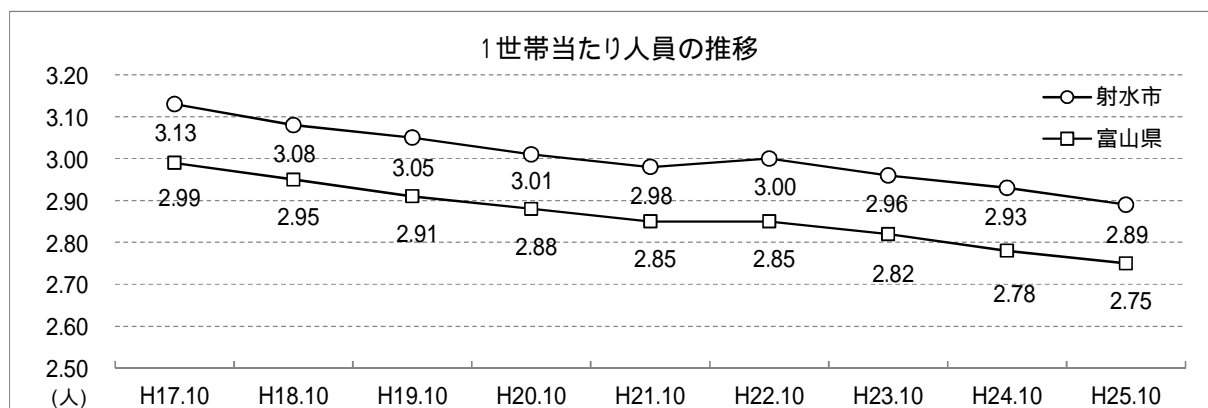
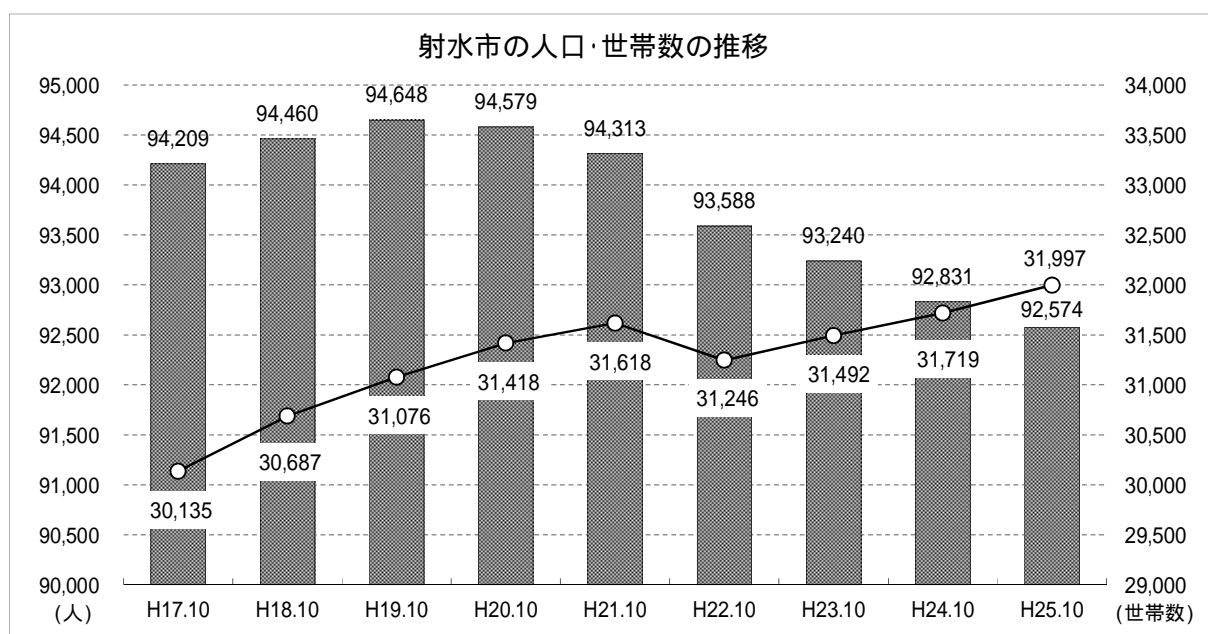
射水市の人口は、合併後平成19年まで増加していたが、平成20年以降は対前年比で減少に転じている。

また、世帯数は総じて増加しており、1世帯当たりの人員は県平均より多いものの減少傾向にある。

(単位：人・世帯)

	国調	県調査	県調査	県調査	県調査	国調	県調査	県調査	県調査
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
人口	94,209	94,460	94,648	94,579	94,313	93,588	93,240	92,831	92,574
世帯数	30,135	30,687	31,076	31,418	31,618	31,246	31,492	31,719	31,997
世帯人員	3.13	3.08	3.05	3.01	2.98	3.00	2.96	2.93	2.89
〃(県平均)	2.99	2.95	2.91	2.88	2.85	2.85	2.82	2.78	2.75

資料：国勢調査（国調） 富山県人口移動調査（県調査）



2 年齢3区分別人口の推移

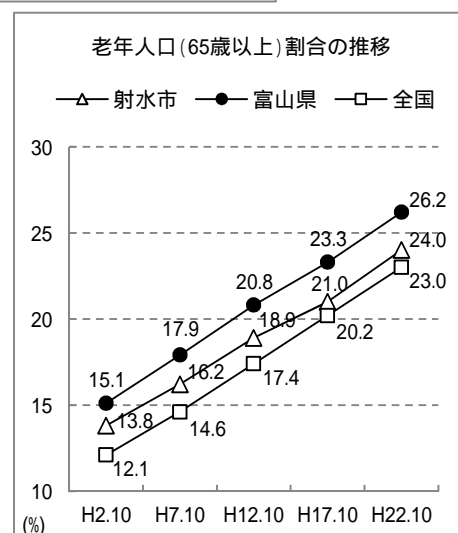
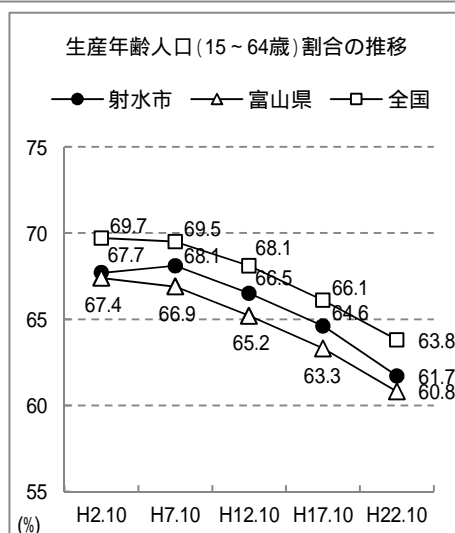
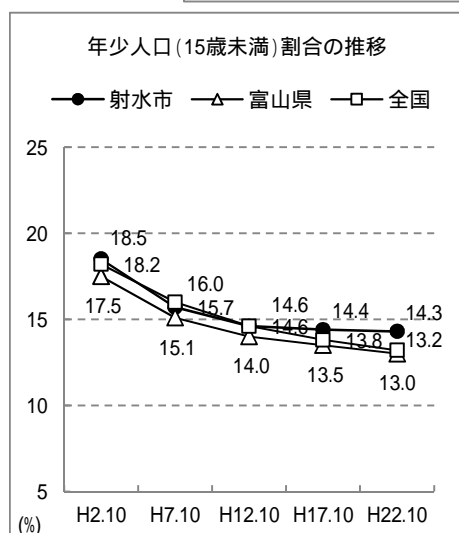
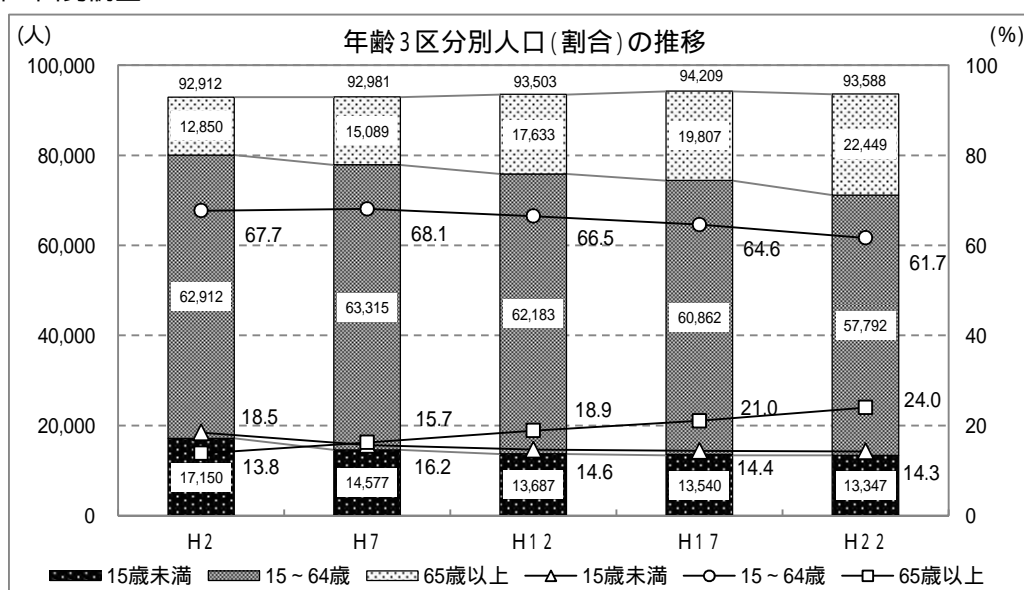
平成22年10月1日現在の年齢別人口は平成17年に比べ、15歳未満人口（以下、年少人口）が193人の減少（-0.1ポイント）、15～64歳人口（以下、生産年齢人口）が3,070人の減少（-2.9ポイント）、65歳以上人口（以下、老年人口）が2,642人増加（3.0ポイント）している。年少人口及びその割合がともに減少する一方で、老年人口及びその割合はともに増加しており、少子・高齢化が進んでいる。

また、年少人口割合は、総じて全国、富山県よりもやや高い割合で推移している。また、老年人口割合は富山県より低く推移しているが、全国よりも高く推移している。

（単位：人・％）

年齢区分	H2		H7		H12		H17		H22	
	人口	割合	人口	割合	人口	割合	人口	割合	人口	割合
15歳未満	17,150	18.5	14,577	15.7	13,687	14.6	13,540	14.4	13,347	14.3
15～64歳	62,912	67.7	63,315	68.1	62,183	66.5	60,862	64.6	57,792	61.7
65歳以上	12,850	13.8	15,089	16.2	17,633	18.9	19,807	21.0	22,449	24.0
総人口	92,912	100.0	92,981	100.0	93,503	100.0	94,209	100.0	93,588	100.0

資料：国勢調査



3 人口動態

(1) 自然動態の状況

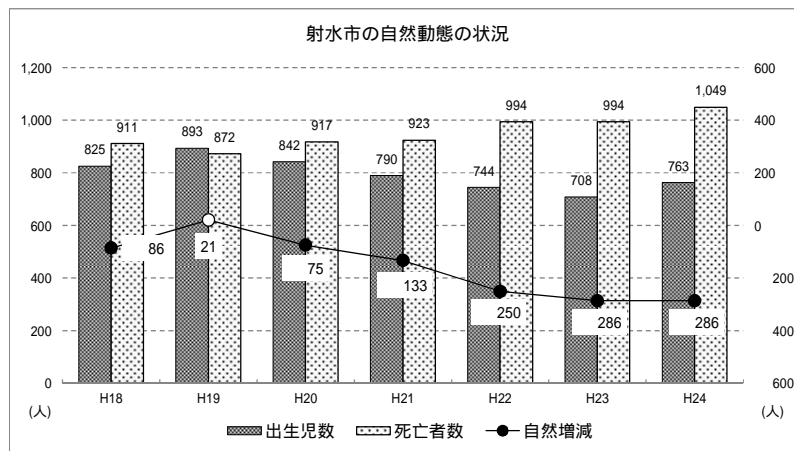
出生児数は減少傾向にあったが、平成 24 年に対前年比では増加している。一方、死亡者数は、増加傾向にある。

射水市における自然動態は、死亡者数が出生児数を超過しており、自然減の状態が続いている。

(単位：人)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
出生児数	825	893	842	790	744	708	763
死亡者数	911	872	917	923	994	994	1,049
自然増減	86	21	75	133	250	286	286

資料：富山県人口移動調査（出生児数、死亡者数は各年 1～12 月までの合計値）



(2) 社会動態の状況

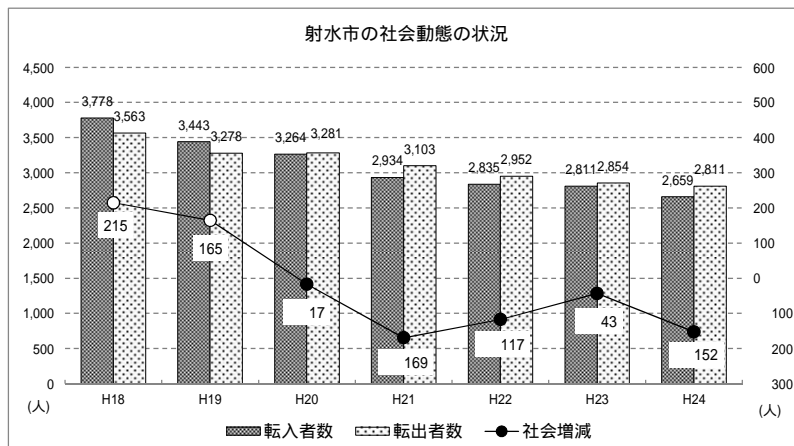
転入者数は年々減少しており、転出者数も総じて減少傾向にある。

平成 20 年以降は転出者数が転入者数を超過しており、射水市における社会動態は社会減の状態が続いている。

(単位：人)

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
転入者数	3,778	3,443	3,264	2,934	2,835	2,811	2,659
転出者数	3,563	3,278	3,281	3,103	2,952	2,854	2,811
社会増減	215	165	17	169	117	43	152

資料：富山県人口移動調査（転入者数、転出者数は各年 1～12 月までの合計値）



射水市の将来推計人口について

1 人口推計方法の概要

(1) 推計期間

推計期間を平成 27 (2015) 年から平成 52 (2040) 年まで、5 年ごとの 25 年間とし、見直し後の総合計画の最終 (目標) 年度に当たる平成 35 年における人口推計も併せて行った。

(2) 推計方法

コーホート要因法により各 5 地区 (旧市町村) における人口推計を行い、その合計値を射水市の将来推計人口とした。

〔コーホート要因法〕

同期間に出生した集団 (コーホート: 本推計では年齢 5 歳階級別人口を指している。) ごとの時間変化 (出生、死亡、社会移動) を基に人口の変化を予測する方法であり、基準人口に、自然動態である生残率や社会動態である純移動率などの仮定値を当てはめて将来人口を算出する。

推計に係る条件設定 (基礎数値) は以下のとおりとした。

・基準人口

平成 22 年国勢調査の結果から、地区別、男女・年齢 (5 歳階級) 別人口を用いた。ただし、年齢不詳分は 5 歳階級別に按分して含めた。

・生残率

『日本の地域別将来推計人口 (平成 25 年 3 月推計)』(国立社会保障・人口問題研究所) の射水市の値を採用した。

・純移動率

地区別の実績を反映させるため、国勢調査の直近期間である平成 17 (2005) 年から ~ 平成 22 (2010) 年の実績値から算出した純移動率を初期値とした。

・子ども女性比

『日本の地域別将来推計人口 (平成 25 年 3 月推計)』(国立社会保障・人口問題研究所) の射水市の値を採用した。

・0 ~ 4 歳性比

『日本の地域別将来推計人口 (平成 25 年 3 月推計)』(国立社会保障・人口問題研究所) の射水市の値を採用した。

生残率 : ある年齢層の集団が一定期間後に生き残っている割合

純移動率 : ある地域の純移動数 (転入 - 転出) の地域人口に占める割合

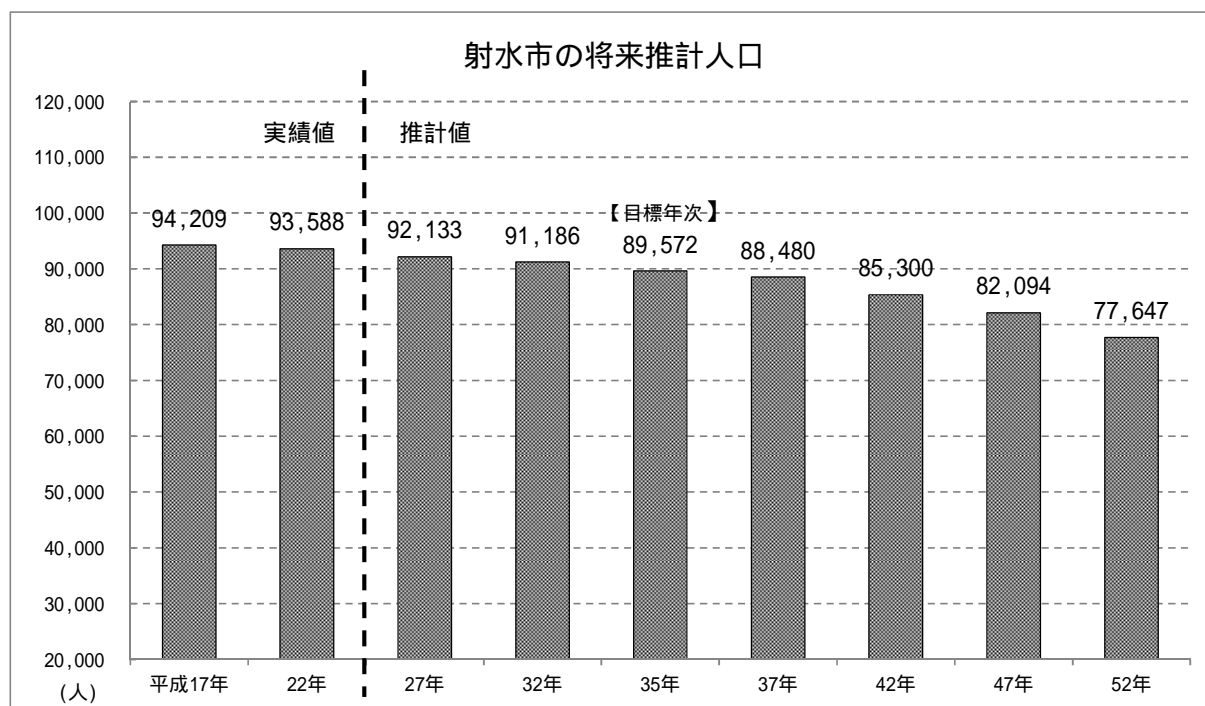
子ども女性比 : 15 ~ 49 歳の女性人口に対する 0 ~ 4 歳人口の割合

0 ~ 4 歳性比 : 0 ~ 4 歳の女性人口 100 人当たりの 0 ~ 4 歳の男性人口

2 推計結果

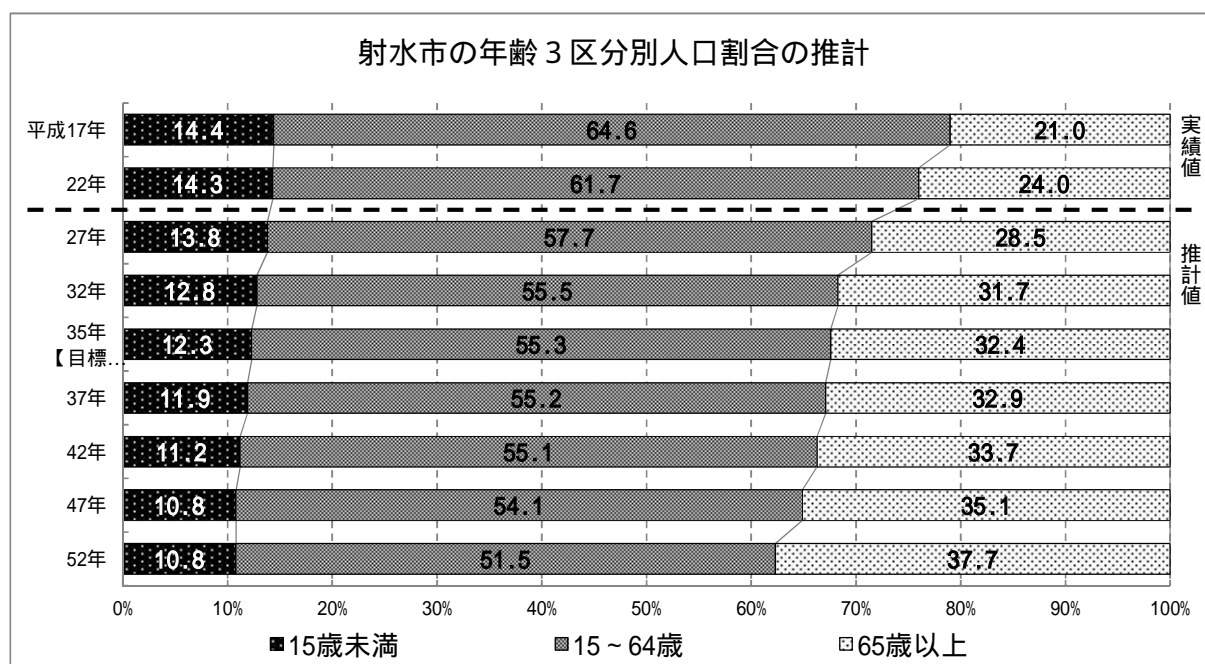
(1) 射水市の将来推計人口の推移

射水市の総人口は、平成17年をピークにその後減少傾向が続き、現在見直しを行っている総合計画の最終(目標)年としている平成35年には、9万人を割り込むと推計される。



(2) 年齢3区分人口割合の推移

推計結果から、引き続き年少人口割合は減少し、老年人口割合が増加することが見込まれる。少子・高齢化が一層進行し、平成42年には3人に1人が65歳以上の高齢者になるものと見込まれる。



(2) 世帯数及び一世帯当たり人員数の推計結果

平成 27 年まで世帯数は増加傾向にあるが、それ以降は減少に転じ、1 世帯当たりの人員数においても引き続き減少するものと見込まれる。

	H27	H32	H35	H37	H42
世帯数	32,010	31,786	31,500	31,309	30,432
1世帯当たり人員(人)	2.88	2.87	2.84	2.83	2.80
推計人口(人)	92,133	91,186	89,572	88,480	85,300

富山県 一般世帯総数の推移

	H22	H27	H27	H32	H32	H37	H37	H42
増加率(%)		0.1		0.7		1.5		2.8

増加率は国立社会保障・人口問題研究所(平成 25 年 3 月推計)の推計値

政策的人口について

1 人口減少への対策と考えられる関連施策

【基本計画】施策名	内 容
3-1-4 「国内外交流の推進」	<ul style="list-style-type: none"> 移住・二地域居住の推進 ・ 移住場所としての魅力の発信 ・ 暮らし体験の機会の提供 都市農山漁村交流の促進 ・ グリーンツーリズム(体験農業)、ブルーツーリズム(体験漁業)
3-2-2 「企業誘致の推進」	<ul style="list-style-type: none"> 企業誘致活動の推進 ・ 企業立地優遇制度の充実 ・ 特色ある誘致活動の展開(企業アンケート調査、広報媒体を利用したPR等)
3-3-1 「農業の振興」	<ul style="list-style-type: none"> 担い手の育成・確保 ・ 後継者等意欲のある農業者の育成
3-3-2 「森林・林業の振興」	<ul style="list-style-type: none"> 担い手の育成 ・ 就業相談や研修等への斡旋 ・ 安定的な雇用確保の推進
3-3-3 「水産業・水産加工業の振興」	<ul style="list-style-type: none"> 担い手の育成・確保 ・ 新規就業者への支援
3-4-1 「雇用対策の充実」	<ul style="list-style-type: none"> 雇用動向の的確な把握と職業紹介・情報提供 ・ 若年層対象の地元企業説明会の開催やインターンシップ制度等の情報提供による雇用促進
4-2-2 「公共交通網の整備」	<ul style="list-style-type: none"> 地域特性に応じた生活交通手段の確保 ・ コミュニティバス・デマンドタクシー 主要施設への交通利便性の向上 主要交通機関の充実、強化 ・ あいの風とやま鉄道の安定的な運営 ・ 万葉線の維持、整備等 北陸新幹線の早期開業に向けた事業の推進
4-3-1 「住宅環境の充実」	<ul style="list-style-type: none"> 空き家対策に関する各種助成制度の創設 ・ 空き家の有効活用を推進するための情報発信 ・ 高齢者や若者、子育て世代等の定住に向けた施策の推進 安定的な住居の確保 ・ 既存公営住宅の適正な管理・運営及び施設整備 土地区画整理等の促進 ・ 土地区画整理事業の促進 ・ 指定宅地取得の支援等

<p>4-3-2 「生活環境の充実」</p>	<p>既成市街地活性化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市再生整備計画に基づく整備 ・ 水辺空間や歴史ある街並み等を生かした特色あるまちづくりの推進 公園・緑地の整備と緑化の推進 ・ 特色ある公園・緑地の整備(緑豊かな憩い空間と防災機能の整備、水辺の自然環境を活用した整備)
<p>4-4-1 「防災・減災対策の推進」</p>	<p>防災都市づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に強い生活環境の整備(生活道路や公園等の整備、上水道施設における耐震化整備) ・ 災害時におけるライフラインの確保 住環境の改善や良質な住宅の供給 ・ 共同建替えや土地の集約換地による防災性の向上 ・ 個々の建築物の耐震化や不燃化の促進

2 少子・高齢化への対策と考えられる関連施策

【基本計画】施策名	内 容
<p>1-1-1 「子ども・子育て支援の推進」</p>	<p>少子化対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化対策に関する施策の総合的な推進(仕事と子育ての両立支援、若者の自立支援、男女の健全な出会いの場の創出支援) 保育園・幼稚園・認定こども園運営の推進・促進 地域の子育て支援事業の充実 ・ 子ども・子育て総合支援施設の整備 ・ 子育て支援センター機能の充実 ・ 子どもの安全な居場所の確保(放課後児童クラブの推進) ・ 様々なニーズに応じた支援の充実(ファミリーサポートセンター、延長保育、病児・病後児保育の充実) 親になることへの自覚と母の健康づくり ・ 妊産婦健康診査 乳幼児の健康と子育て支援の充実 ・ 乳幼児健康診査 医療費助成制度の充実 ・ 子ども医療費助成制度 ・ 妊産婦医療費助成制度 不妊治療助成制度の充実
<p>2-1-2 「高齢社会対策の推進」</p>	<p>元気な高齢者への活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の健康維持・増進 介護予防の推進 ・ 一次予防事業(生活機能の維持・向上)の推進

3 目標人口の設定

総合計画の最終年度（目標年度）の人口推計結果（89,572人）に、本市固有の充実した各種施策の実施による人口増加分を加味したものとする。

$$89,572 \text{ 人} \quad + \quad = \quad 90,000 \text{ 人}$$

（推計人口）

同年の世帯数 31,700世帯
（1世帯当たりの人員推計値(2.84人)から）